



発行者  
諫早市立真城中学校  
校長 山内 昇

### 学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

## ○ 2学期がスタートしました！



今日から2学期が始まりました。登校の際、生徒たちの大きな声での返事が中庭に響き、学校に活気が戻ってきたのを実感しました。生徒たちの登校の状況を確認した後、2学期始業式を実施しました。上の写真が式場の様子です。残暑が厳しいので、リモート配信による式としました。クロームブックの導入によりICT化が一気に進み、リモート配信での行事が増えました。私個人としては、生徒一人一人の顔が見えないので、思いがしっかりと伝わっているかが見えないことが不安なのですが、健康や安心には代えられないと考えています。これからも「暑さ」との戦いが続きますが、安全を第一とした対応をしていきたいと思えます。

右の写真は、今回2学期の抱負を発表した4人の生徒です。1年生代表 波江さん、2年生代表 黒木さん、3年生代表 河浪君、生徒会代表 溝上さんです。以下に、2学期の決意を紹介します。



### 2学期に向けて 3年2組 河波 君

中学校生活最後の夏休みが終わり、受験生として大切な2学期が始まりました。この2学期を充実したものにするために、私は頑張りたいことが三つあります。

一つ目は、受験勉強に積極的に取り組むことです。「夏を制する者は受験を制す」この言葉を常に頭に置き、この夏休みは、これまでの学習内容を復習するとともに、問題集などを活用して勉強してきました。また、高校のオープンスクールや学校説明会に積極的に参加することで、受験生だという自覚も強まりました。2学期は、今まで以上に授業に集中するとともに、家庭学習の質と量を向上させていきたいです。

二つ目は、最上級生として1・2年生の見本になることです。私たち3年生は、体育大会やSDGsの発表を通して、「全体を見て、的確に指示を出すこと」や

「人前に堂々と立ち、分かりやすく伝えること」など、後輩の見本となる部分がある一方、登校時間に余裕が無かったり、2分前着席が不十分だったり、時間にルーズな面や、授業中の反応が少ないという課題もあります。2学期は、これらのことを改善し、1・2年生の手本になるようにしたいです。

三つ目は、合唱で協力することです。私たち3年生は、中学校で行われる合唱交流会に加えて、市内音楽会があります。3年生にとって、みんなで力を合わせて行う行事は、これが最後となるので、一生懸命練習し、この3年間で培ってきた「絆」を合唱に全力でぶつけたいです。

このように、私たちにとって、2学期はとても重要な学期となります。今、話した三つの頑張りたいことを確実に実践し、「ひとりのために みんなのために」輝ける2年生を目指します。

次号でも2学期の抱負を紹介したいと思います。

### ○ 新しい職員の紹介です

諫早市は、英語教育に力を入れており、たくさんのALTが各学校で勤務しています。1学期までは、アンドリューが本校で勤務していましたが、2学期からは、ジェニファーが本校で勤務することになりました。アメリカのテキサス州出身です。始業式での挨拶では、とても聞き取りやすい発音をされていたので、真城中の生徒にとって「よい学び」になると感じました。



### ○ 今日の給食

2学期初日から、給食が開始されました。今日の給食は、トック入り野菜スープ、ビビンバ

(肉・ナムル)の韓国風のメニューでした。残暑の厳しい季節に、夏バテ予防のためのメニューなのだと感じました。教室

を回ってみると、ご飯の上に具をかけたり、さらにかき混ぜたりする人もいれば、セパレートで別々に食べる人など、様々でした。「トック」もボリューム満点で、初日から食べ応えのあるメニューでした。



←ビビンバ完成



夏休み中に、市役所に行ったとき、右のような「食」に関するのぼりが立っていました。今日は、ナムルが苦手な人が多く、量を減らしている人が多かったように感じました。成長期の今、バランスの良い食事を心掛けてほしいです。